

71 パナソニックシステムネットワークス(株) システムソリューションズジャパンカンパニー関西社 ▶ 吉野郡野迫川村【奈良県】

ケーブルテレビ網を活用した「高齢者見守り安否確認システム」

野迫川村の独居老人を孤立死から守りたい。

こまどりケーブル(株)のCATV既設網(パナソニック製STB)を活用。

パナソニックのCATVユニバーサルポータル「見守り支援サービス」をアドオン。

システム導入後、ベッドに伏していた独居老人を救助する事例も発生し、マスコミにも注目された。

背景

奈良県南部に位置する野迫川村は人口約500人。その4割が65歳以上の高齢者が占めており、さらにその1/4が一人暮らし。システム導入前10カ月間に、一人暮らしの高齢者が亡くなる孤立死が2件発生。それをなくすことが「高齢者見守り安否確認システム」を導入するきっかけとなった。

概要

対象者のSTBにインターネット回線を接続し、STB電源を「入」にすると、あらかじめ設定した相手(野迫川村役場担当部門を登録)にメールを配信する仕組みを利用。

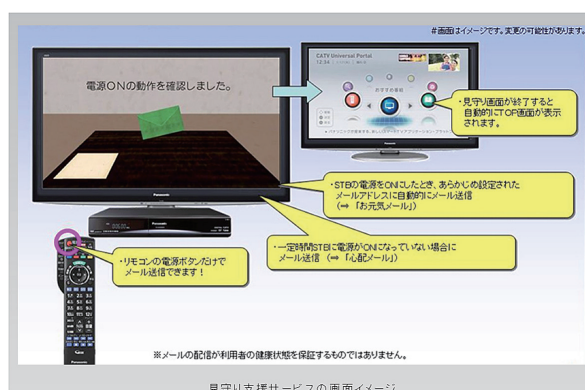
- ①対象者がテレビ電源を入ると「お元気メール」が役場に配信。
- ②24時間、テレビ電源が入らなると「心配メール」が役場に配信される。
- ③翌朝9時以降に役場担当者がパソコンでメール内容を確認、見守りを実施。

<運用状況>

- ①「心配メール」は毎日5件程度(10%)が届き、対象者が旅行等で長期不在時の事前届出分を除くと日々数件程度である。
- ②役場では日々送付されてくるメールをチェックし、テレビが使用されず「心配メール」が送付されてきた家には電話をし、繋がらなかった場合は家を訪問するなどの安否確認を実施する。

<システム提供企業のアピールポイント>

- ・高齢者の方が日常生活の中で、意識せずご利用していただける。
- ・自治体(野迫川村役場様)と地元ケーブルテレビ局(こまどりケーブル(株))の安全・安心への高い取り組み意識により継続中。



野迫川村役場



電源を入るとメールを配信

メール配信後は通常のテレビ映像

アピールポイント

■実際に救助する事例が発生した

近隣からの「最近姿を見かけない」等のお問合せと、*本実験システムにより、役場で集約している見守り情報とを照合し、実際に独居老人宅を訪問。ベッドに伏していた高齢者を救助する事例が発生した。

■薄れていた地域のコミュニティが復活した

見守りサービスを行う中で、安否を確認した自治会長・区長をはじめ、近隣のご家庭でも独居老人のことを気にかけるようになり、薄れていた地域のコミュニティが復活したとの声も聞かれた。

■マスコミからも注目をいただいた

NHKの「ならナビ」や「おはよう朝日」などのテレビで本取り組みが取り上げられるなど、注目された。

- * 本システムは実証実験としての納入。
- * 実験期間: 2012年8月~実験開始。継続運用中。
- * 稼働機器等
 - ・セットトップボックス(STB) TZ-LS300P 50台。
 - ・STBクラウドサービス「CATVユニバーサルポータル(CUP)の見守り支援サービス(オプション)」を活用。

パナソニック株式会社 支店総括 企画 <http://panasonic.co.jp>

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル Tel.03-3574-5737 Fax.03-3574-5676